

SUNSHINE

第44号 2009年 11・12月発行
 有限会社 太陽開発
 鹿児島市荒田2丁目43-19 TEL099-255-3623
 E-Mail master91@taiyou1991.com



太陽開発

検索 クリック!!

賃貸マンション(オーナー様)をご紹介します!

今回は、三和町にある「セデリア村中Ⅲ」のオーナー様のご紹介です。オーナーの川畑様は【本場 大島紬織元 むらなか】の経営者でいらっしゃいます。長い歴史と伝統を誇る鹿児島県を代表する織物、“大島紬”の着物販売のお仕事をされています。マンションの1階部分にお店を構え、奥様や息子さんとともに、日々お仕事に励んでいらっしゃいます。川畑様は「セデリア村中Ⅲ」以外にも、真砂本町に「セデリア村中Ⅰ」とそのすぐ近くに「セデリア村中Ⅱ」の、合計3棟のマンションを所有していらっしゃいます。ヨーロップでは絹物のことを[sederia]と呼んでいることから、マンション名に全て「セデリア」というお名前をつけられたそうです。セデリア村中Ⅲは、3DK～3LDKのファミリータイプのお部屋です。しかもペット可マンション!!!スーパーにも歩いていけますし、三和中央バス停から歩いて2分の立地ですので、ご家族でお住まいになる方にピッタリの物件です!!エレベータがついているので、上り下りも不自由しません★マンション管理は奥様、子供さんも一緒に定期的に掃除をされているので、マンションはいつもきれいに保たれています。小型犬・猫の飼育可能物件で、弊社でもオススメの物件です。

オーナー
川畑 様



セデリア村中Ⅰ



セデリア村中Ⅱ



セデリア村中Ⅲ

新

2009年「今年の漢字」
 今月11日京都・清水寺にて発表

今年も残すところ2週間となりました。みなさん、今年も充実した一年間を過ごすことができましたでしょうか。9月の鳩山新政権誕生や新型インフルエンザ流行等により、今年の漢字『新』が京都の清水寺で決まりました。個人的には、娘が大阪の大学へ進学したことにより、四月より夫婦二人だけの新生活が20年振りに復活しました。今年も大変短い一年間だったと思います。大人になるとなぜ一年が短くなるのか疑問に思ったことはありませんか? 以前読んだ本の受け売りですが、50歳の一年間は自分の人生の50分の1、15歳の一年間は人生の15分の1で、年を重ねるに従って人生に対する一年の割合が短くなるからだそうです。これから私の一年間はどんどん短くなっていきますので、充実した日々を過ごせるよう、常に物事に対して「関心」「感動」「感謝」の気持ちを忘れずに過ご

もつ鍋 あぐらや

弊社従業員のオススメ♪「荒田周辺」のお店のご紹介第27弾!!

お店をかまえて、8年になります(^ ^)
 当初は、お兄様が経営されており、その後を小浦さん(妹)が引継いで、現在バイトの男の子と二人で頑張っておられます☆
 お店(あぐらや)の名前の由来は・・・聞いてみると・・・
 『お客さんがあぐらをかいてゆっくりしてもらえるように』と名付けられたそうです♪
 オーナー様の優しさが伝わってきますよね。
 もつ鍋のスープは、味噌と醤油をベースに隠し味を加えて、スープを沸騰させないのがコツ!! 火加減が一番大事なんですよ～
 スープが美味しいので、野菜ももつもたくさん食べられます(^ ^)
 もつが食べられない人も☆☆絶対食べられます☆☆
 私も嫌いだっなのに、食べられました♪是非!一度食べて見て下さい。
 おいしさがわかります♪お値段もお客様にやさしい価格になっています



和牛もつ鍋

和牛のモツ(大腸)
 野菜たっぷり入ってます
 スープが味噌と醤油味ですごくコクがあっておいしいです
 (秘伝のスープ、隠し味は秘密)



和牛モツ&麺♪最高～
 おいしくて☆幸せ♪

オーナー
小浦様



最後は・・・
 チャンポン麺をいれて



荒田1丁目36-12-1F 定休日(日曜日)

TEL 099-206-1947

営業時間 18:00 ~ 25:00

今、「あぐらや」さんでは、一杯150円の白ご飯に熱々の鍋のスープをかけていただくご飯が、天下一品♪だそうで7-ムになっています!

今月の一冊 白夜行

東野圭吾
 ひがしのけいこ



其の43

1973年、大阪の廃墟ビルで一人の質屋が殺された。容疑者は次々に浮かぶが、結局、事件は迷宮入りする。被害者の息子・桐原亮司と、「容疑者」の娘・西本雪穂…暗い目をした少年と、並外れて美しい少女は、その後、全く別々の道を歩んで行く。二人の周囲に見え隠れする、幾つもの恐るべき犯罪。だが、何も「証拠」はない。そして19年後…。息詰まる精緻な構成と、叙事詩的ス

1958年大阪市生まれ。大阪府立大学電気工学科卒。85年『放課後』で第31回江戸川乱歩賞、99年『秘密』で第52回日本推理作家協会賞、2006年『容疑者Xの献身』で第

若者に人気の作家シリーズ最後は、東野圭吾です。彼の作品は数多く映像化されていますよね。『白夜行』も2006年に、綾瀬はるか・山田孝之主演でドラマ化されています。当時ドラマは見ていなかったのですが、今回作品を読んでみて、改めて見てみたくなりました。綾瀬はるか雪穂役は、ピンと来ないので、検証してみたいです。作品紹介にあるように「精緻な構成と、叙事詩的スケール」は確かに脱帽ものですが、テーマが暗すぎて、読んだ後気が滅入ります。この秋上映された東野圭吾原作、寺尾聰主演の『さまよう刃』も、相当重そうですね。

この3ヶ月、伊坂幸太郎・石田衣良そして東野圭吾の作品を何冊か読んでみましたが、少年犯罪を扱った作品が多く、正直言って気が重くなりました。もちろん目を逸らしてはならない社会問題ですが、あまり続